

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ（葛塚地域） 第3回ワークショップの結果概要（案）

2016年12月18日（日） 豊栄地区公民館

【検討の進め方について】

- ・ ワークショップはあとどの程度の期間続くのか、また、「地域別実行計画」策定後、市が計画実行に向けてどのように取り組んでいくのか、そして、ワークショップの話合いの結果が、どのような具体的な取り組みに落とし込まれていくのかが気になる。
- ・ ワークショップで話合いを積み重ねてきた区役所新庁舎についての思いが新庁舎の構想に反映されるのかが心配である。
- ・ 公共施設の見直しを前提にワークショップを進めているが、その前に、行財政の改善のために検討すべきことがあるのではないか。
- ・ 午後半日潰れてしまうので、ワークショップの開催時間を午前中にするなど検討してほしい。
- ・ 配布資料にある専門用語や難しい用語が分からないので、参加者が理解できるようにしてほしい。
- ・ 新庁舎検討会議や本ワークショップの取組み等、公共施設に関する情報をより多くの市民に偏りなく周知してほしい。

【地域づくりの視点（課題解決の狙い）について】

■追加すべき新たな地域づくりの視点

- ・ 若者・子育ての視点ばかりでなく、「高齢者・障がい者」の視点も盛り込み、多世代に対応した地域づくりの視点としたい。
- ・ 人口減少や高齢化などの将来を見据えた魅力的な施設づくりや住宅施策など、地域づくり全体を踏まえてほしい。

■「③子育ての環境を整え、地域の魅力を高める」ことについて

- ・ “子育てをしやすい環境づくり”だけでなく、“この地域で子どもを産み育てたい”と思うことができる環境をつくることも魅力を高める上で大切である。

■「④若者の居場所をつくり地域を活性化させる」ことについて

- ・ 若者だけのための居場所づくりではなく、地域と若者が交流できる場が必要だ。多世代交流ができるような場や仕組みをつくることで、地域の活性化につなげたい。

【課題解決の諸方策について】

■「①過度な財政負担が将来世代に残らない」ことについて

- ・ ポイント制度を導入し、ボランティア活動などの対価として、公共施設サービスに活

用できるポイントを提供すれば、財政負担を減らしながら、市民活動を活性化することもできるのではないか。

■「②空いた土地や既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る」ことについて

- ・ 公共施設は、施設ごとに利用者や用途や時間帯を限定しており、使いにくいいため、利用者や時間帯を緩和すれば、施設の利便性が向上し、利用率が高まるのではないか。
- ・ 公共施設を複合化したり多機能化したりする際には、利用率が高い施設と低い施設を組み合わせれば、これまで公共施設を利用しない層の利用が期待でき、利用率向上につながるのではないか。

【対策案について】

■ A案について

〈期待〉

- ・ 太田小学校の売却・貸付の条件として、地域の意向を踏まえることとなっている点は全体的に評価できる。特に、このことで避難所機能が確保されることは良い。

〈懸念〉

- ・ 太田小学校周辺にとっては、太田小学校が防災機能を備えた避難所としての機能を持ち続けることは重要なことである。売却・貸付となった場合、先々も避難所機能が確実に担保されるのかが心配である。
- ・ 葛塚東児童館と豊栄児童センターは、既に子どもたちで溢れているが、さらに児童館が売却されるとなると、子どもたちの居場所となるような施設が区内でまかないきれぬのが心配だ。歩いて行ける距離にこうした施設が立地していないことも心配だ。
- ・ 公民館とコミュニティセンターを統合すると、これまでの活動に支障が出るのではないか。また、利用率が高い夜間などは、込み合って使えなくなるのではないかと心配である。
- ・ 新庁舎に様々な機能を集約すると、近所にあった施設が遠くなり、アクセス面で不便になってしまう。

〈配慮事項・修正提案〉

- ・ 太田小学校は、民間に売却・貸付となった場合は、避難所運営についてのこれまでの話合いの経緯を引き継ぎつつ、防災機能・避難所機能について地域と連携しながら検討してもらいたい。
- ・ 現在のコミュニティセンターは未だ新しい施設なので、解体を前提とするのではなく、何かに活用することも考えてほしい。
- ・ 売却・貸付される区役所本館の一部スペースに、ニーズの高い子どもの居場所の機能

をつくってほしい。

- ・ 新庁舎には、高齢者や障がい者のための機能も複合化し、バリアフリーに対応した建築物にしてほしい。配付資料（資料5）は、児童館と児童センターがどこに集約されるのかが分からない。他の施設同様、矢印で示してほしい。

■ B案について

〈期待〉

- ・ 区役所新館をコミュニティセンターに転用すれば、エレベーターがあるので、高齢者にとってコミュニティセンターが使いやすくなる。また、学習スペースなどを設ければ、若者が集まり、多世代交流にもつながるのではないか。
- ・ 太田小学校が市施設のまま維持できるのであれば、地域の意向をくみ取ってもらいやすい。防災機能や、スポーツ推進の施設などでの活用を期待している。

〈懸念〉

- ・ 区役所新館は、本館よりもさらに奥まっているので、本館跡地の使われ方によっては、位置がわかりにくくなってしまうため、車利用者が通り過ぎてしまったり、たどり着けなくなるのではないか。
- ・ 太田農村公園内の東屋を廃止すると、屋外作業後の休憩場所がなくなるので困る。利用の実態を調査した上で検討してほしい。

〈配慮事項・修正提案〉

- ・ 区役所新館は駅からのアクセスを活かし、大学のサテライトキャンパスを誘致し、コミュニティセンターと連携することで、地域の活性化につなげてはどうか。
- ・ 区役所新館には、公民館とその類似機能であるコミュニティセンターを集約し、新庁舎には、さわやか老人福祉センター、豊栄健康センター、児童センターなどの行政で管理する施設を集約すれば、管理運営費を削減できるし、空いた施設を民間に売却・貸付すれば、更にコストを削減できるのではないか。
- ・ 太田小学校の市施設としての活用方法を検討する際、文書館の具体的な使用イメージを明確にしてほしい。そうすれば、小学校に複合化する機能の可能性や、周辺への影響などを具体的に検討できる。

■ C案について

〈期待〉

- ・ 地域活性化検討委員会でも検討されていた案で、これまでの地域の意向が反映されている点で良いと思う。
- ・ すみれ保育園が建替えられることになれば、子どもたちの居場所が生まれるし、駅北周辺の防災拠点になるのでよい。

〈懸念〉

- ・ 太田小学校を保育園と福祉施設を複合化する案では、園児向け施設や福祉施設にするために、大規模な改修が必要になるのではないかと心配である。

〈配慮事項・修正提案〉

- ・ すみれ保育園は現在は低層の小規模な建物なので、災害時にも対応できるような規模、高さ、機能にしてもらいたい。
- ・ 葛塚東児童館を売却・貸付するのであれば、児童館とすみれ保育園を複合化して、子育て機能を集約できると効率化できて良いと思う。
- ・ 太田小学校を民間に売却した場合、果たして10~20年後も災害時の防災拠点として、機能維持される保証があるのかが心配だ。B案のように市施設のまましておけばよいのではないか。

■新規の提案

- ・ B案には、C案にあるように、すみれ保育園の移転と複層化と防災機能を付加することを併せると理想的だ。

■各案共通の事項

- ・ 公共施設の改築や新築等の間も、これまでと同様、地域活動や市民活動等が継続できるように配慮してほしい。
- ・ フリースペースは、多世代が交流できるような工夫をしてほしい。介護予防教室を若い人が運営するなどプログラムづくりにも期待したい。
- ・ 民間に売却する際は、地域の意向を踏まえた事業提案をしてもらうことを前提としたい。
- ・ 公民館の工作室などの稼働率が高い施設は、市民ニーズがあるのだから、機能も部屋の広さもそのまま新庁舎へ機能移転してもらいたい。

■その他

- ・ 物差し案が提示されたことで、物差し案を基準にして、A~C案を比較することができてよかったし、比較することで物差し案の問題点もよく見えた。

【評価軸・評価方法について】

- ・ “高齢者、障がい者が暮らしやすいまちづくり”という課題解決のねらい（地域の視点）を追加した上で、評価軸としては、「バリアフリーになっているか」、「移動が制限されるような方々にとってアクセスがしやすいか」を加えたい。